



伊那ロータリークラブ



事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 Tel(78)1121
 会長 藤澤洋二 幹事 小松献臣 会報委員長 城取健太 第2916回例会 2020.11.5 No.1576



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21 年度 RI テーマ

Rotary Opens Opportunities

ソング 君が代 奉仕の理想

四つのテスト 鈴木正比古職業・社会奉仕委員長

会長談話 藤澤洋二会長

今年は、バス業界・旅行業とも、新型コロナウイルスの影響が大きく、社員一同よく頑張ってくれていますが、大変厳しい状況が続いています。

そんな中、当社のバスガイド達が、会社のためにと、今までの経験を生かして、新しいバスツアー、新しい「バスたび」を企画してくれました。自分達から、自らすすんで、バスツアー企画を作ってくれたことを、大変頼もしく嬉しく思っています。

幸い、伊那ケーブルテレビ・長野日報・信濃毎日新聞・中日新聞などに、バスガイドの発案した新しい「バスたび」として、取り上げていただき、多くの方にお申込みいただきました。

11月3日・4日と、ガイドの企画した、東信のバスガイドツアーに家内と二人で参加してきました。

天候にも恵まれ、きれいな紅葉を楽しむことができました。

ガイドたちの手作りのパンフレット、手書きのメッセージを添えたお菓子の袋、手指消毒のアルコールを、一人一人のお客様にお配りしました。

たまたま、SBC テレビの取材が入り、カメラマンがツアーに同行しました。テレビカメラを向けられたガイドは、大変緊張したと言っておりました。

明日、夕方6時15分から7時のSBC ニュースワイドの中で放映されることになっています。お時間のある方はご覧ください。

今日は、伊那バスの宣伝をさせていただきました。

誕生祝

小坂栄一・三澤清美・山田益・小松献臣・増田清・山崎秀亮



結婚記念日祝

塚越寛・増田清・宮下裕・唐木一平・平澤泰斗・荒木康雄・中曽根隆文・鈴木正比古

在籍祝 小坂栄一

(53)・清水紀光(16)・大石ひとみ(4)

幹事報告

- 11月のロータリーレートは\$1=104円です。
- 地区事務所より、「ガバナーノミニー（2022-2023年度ガバナー）決定宣言」が参りました。
氏名：上沢 広光（かみさわ ひろみつ）
所属クラブ：須坂五岳ロータリークラブ
勤務先・役職：信越商事株式会社 代表取締役社長
職業分類：ビル経営
生年月日：1960年4月25日 現在60歳
- 「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金は28,000円でした。ご協力ありがとうございました。
- 地区事務所より、地区職業奉仕セミナーのご案内。
日時：2020年11月29日（日）13：30～16：30
場所：キッセイ文化ホール 中ホール
内容：基調講演、パネルディスカッション
- I GM例会について
日時：11月26日（木）12：00～例会、食事（アルコール類は無し）12：30～13：30
I GM（マスク着用にて意見交換）
場所：だるま 大広間 会費：無し

理事会報告 別紙をご覧ください。



委員会報告 ○I.M. 実行委員長について

山田 益上伊那グループガバナー補佐

平出吉範会員を推薦し、理事会で承認されました。これから組織を作り進めていきます。皆さんのご協力をお願い致します。



○雑誌紹介「友」11月号 中山一郎副会長
横組み P7~13 ロータリー財団月間の記事 グローバル補助金を有効に使った3つの例を紹介。

P16~17 インターアクト週間
活動を紹介。P17は長野女子 IAC。

P18~27 新型コロナにより例会はどう変わったかアンケート結果で紹介、P26、27では東京恵比寿 RC の「おうちでオンライン納涼会」が大盛況であったとの報告。

P35~41 連載コミック「ポール・ハリスとロータリー」いよいよクラブが出来る前夜に近づく。

P44 エバンストン便り RI 会長ノミニーとして初の女性が決まったこと、TIME 誌が選ぶ世界で最も影響力のある100人に、ナイジェリアのポリオプラス委員長が選ばれたことを紹介。

縦組み P4~8 国際基督教大学にあるロータリー平和センターについて前学長の日比谷潤子氏が世界で活躍する人材として平和フェローを育てていることを紹介しています。

P9~12「この人訪ねて」静岡県島田 RC の河村隆夫会員を紹介。

P13卓話の泉、P16~友愛の広場、P20~ロータリーアットワークではコロナ禍の中で創意工夫し様々な活動をしているクラブを紹介。

出席報告 会員数54名 内出席免除15名
長欠0名 出席者 33名 事前メーキャップ2名
出席率 76.09%

ニコニコボックス

堀内厚志 本日卓話をさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

在籍祝 登内豊明・小坂栄一・大石ひとみ

ラッキー賞

熊谷吏朗

中山一郎

大石ひとみ

小坂栄一

三澤 聡



本田敏和・平出吉範

会員卓話 堀内厚志会員 演題「仕事人として」

今年の7月に入会し早4ヵ月となりました。地元を代表する経営者の皆様方そして地域において圧倒的存在感と影響力のある名士、諸先輩方の仲間入りをさせて頂く事に大変光栄に感じながらも、ロータリアンの高邁な精神世界にただただ圧倒されて参りました。



タイトルは仰々しくも「仕事人として」ではありますが、これは今から10年程前、ちょうど私自身が銀行でいう支店長職位になる頃、自分自身の「中間決算」として「仕事人」とは何か、どうありたいのか、もっと言うと、どうあるべきなのか、を考えてみたものであります。

これは、今までの銀行業務を通じ、様々なお客様や銀行の諸先輩から教わった事、薫陶を受けたこと、物の本から精神的に強い影響を受けたことを自分の実体験も踏まえ、それこそ自分なりに整理してみたものであります。これがいかに後輩たちを啓発するものなのかは定かではありませんが、「臆面もなく披露してみたい」ということで、銀行内の「行内報」に掲載したものです。以来、人事異動で私がどの職場に行っても、その職場内の部下達に、必ずこの話をしております。

簡単に自己紹介もかねて私自身の経歴についてお話しします。

出身は上田市。高校まで上田に住み、東京の大学を卒業後、平成元年に八十二銀行に入行致しました。俗にバブル入行と言われた時代。テレビドラマ「倍返し」で有名な「半沢直樹」と同世代ということになります。初任店は坂城支店で、専ら銀行事務を1年半に渡り担当しました。転勤で、新潟県上越地方新井支店、研修東京 MM トレーナー研修、松本駅前支店、飯田駅前支店。その後、本部人事部で人事異動、評価、採用と、あまり人からは好かれない行内の友達を失うような仕事を7年半という結構長い間やって参りました。

篠ノ井支店、白田支店にて支店長、東京青山支店長、本部の部長を経て伊那支店長に赴任してきました。

ついこの間八十二銀行本店の門をくぐり、銀行に入行したかと思いきや、「光陰矢の如し」とはよく言ったもので、銀行員生活の折り返し地点を

優に超え、残り期間の方が圧倒的に短くなった、今頃になってと思われるかもしれませんが、篠ノ井支店副支店長になった時、つまり次は支店長となった時に、先程申し上げた「中間決算」をした訳であります。

銀行は良くも悪しくも「支店長」と「それ以外の職員」というところがありまして、支店長の「影響力」「存在感」は物凄く大きい。だからこそ、部下、後輩に、自分自身の職業人生の半生はどうだったのか、何を思い何を考えているのか、「信念」「矜持」「価値観」「大切にしていること」は何か、有体に言えば自分はどのような人間か、皆にどうあってほしいと願っているか、期待しているか、というのを理解し共有してほしいと思ったのも「中間決算」をした大きな理由の一つであります。資料に沿ってお話したいと思います。

職員の皆さんへ

～仕事人としての心構え・ありたい姿～

「明るく」「元気良く」「厳しく」「活力ある」職場に

1. いつ何時も、明るく元気に、そして覇気をもつ
これは、行動の原動力であり、エネルギーの源になるものである。やはり、陰気で意気消沈した雰囲気、周囲が漂っているのは、運勢が味方しないと思う。

2. 謙虚に、素直に、そして可愛がられる人物に
俗に「知・情・意」のバランスが良く、加えて幾つになっても、謙虚な姿勢で素直に人を受け入れ、何とも「可愛げ」のある人間というのは、多くの人が寄ってくるもの。そこで、期待もしてくれるし、その期待に応えようとすることで、人間的にも一段の成長がある。

3. 辛抱強さ、忍耐力を身につける

当然ながら心身とも健康で健在でなければ良い仕事は出来ない。人生は思い通りに行かないことの方が多く、そんな時一々挫けていては身が持たない。困難に打ち克つタフさが必要。辛抱できる忍耐できる人間は、内面的な強さが滲み出て、魅力が増すと思う。

4. 着眼大局・着手小局

誰しも高い視点と広い視野を持った人に憧れる。そうあるために色々な人生経験を歩むものだと思う。千里の道も一歩から。「志」は高く厚くありたい、但し足元はしっかり確実に。どんな些細な仕事とは思っても、それをないがしろにしているのは高い目標には届かない。

5. 自分自身の中にある「甘え」とは決別する
艱難辛苦から逃れようとするな。「言い訳・言い逃れ・取り繕う」は許さない「自立心」「自律心」が肝要。そして常に「見識」「品格」を保ってほしい。

6. 「誇り」と「向上心」を持つ

己の意地とプライドに掛けてもやってやる。人間「誇り」を失ったら価値がない。しかしこれで完璧ということではなく「向上心」がなければ成長はない。

7. 「すぐやる」「必ずやる」「できるまでやる」

文字通り「本気」になるということ。決めたことは最後までやり切る、完遂させる根性とスピード感が大事である。

8. 「協調意識」と「競争意識」

人間独りでは生きていけない。協調しなければ組織は成り立たないし、全ての銀行の仕事は独りでできるものはない。そういう意味で、人と協調することは絶対的に必要。ただ誰にも（ライバルには）負けない、負けたくないという競争心がなければ、その人の成長はない。

坂本龍馬の「船中八策」というものがありましたが、期せずして八つになりました。当然のことながら、自分はこんな立派な人間ではありません。しかし、「仕事人」としての心構え、ありたい姿と言えば、これが本心であります。10年前と言っても、銀行員人生とすれば残り期間に限られている中、以上申し上げたことを、私の職業人生の目標として掲げ、それに向け全力で歩いていきたいとして今日までやって参りました。

今はもう、八十二銀行という範疇では、マラソンで言えば陸上競技場に入ってラスト数百メートル、ということまで来ております。しかしながら、これからも、これに向け全力疾走していき、そして、退職する頃に、一つでも二つでも「あの人はこういう人だった」と認められるように、これからも精進していきたい。

それが、今まで本当にお世話になった方々、地域、お客さま、銀行内外の先輩後輩、部下達、へのささやかな恩返しだと思っております。

また、私が話をした銀行内のすべての部下達も、一つでも二つでもこれを共有して、こうあって欲しい、こうあるために精進して欲しいと願っている次第でございます。